

神戸

震災16年目 思い届ける全盲のピアニスト



ピアノの前に座り、17日のコンサートに備える福田正人さん
 神戸市垂水区

人々の平穏祈り

17日・神戸でチャリティコンサート

西宮市出身の全盲のピアニスト、福田正人さん(24)らが17日、阪神大震災の復興チャリティコンサートを神戸市内で開く。福田さんは小学2年の時に被災。家族は無事だったが、今でもあの揺れを思い出すという。「コンサートを開けるといことは平和ということ」と話し、人々の平穏を祈りながら音楽を届けるつもりだ。【小坂剛志】

福田さんは生まれつき目が見えず、点字楽符を響いていた福田さんは、タビウ。大阪音大短大部のピアニストの引き出しが「一気にピアノ専攻に進学し、首席の方へ落ちてきた」とを覚えている。「これなどの海外でも演奏活動が地震か」。とっさに布団をかぶって、けがはな

かった。目の見えない福田さんは家族から「じっとしとき」と言われた。両親は水くみや食べ物確保で大変だったようだが、小さかった福田さんは何もできなかった。今、神戸市垂水区で一人暮らしをしてる福田さん。時々、「もし、また地震があったら自分はどうかだろう」と考える。

震災では多くの人が犠牲となり、福田さんの幼稚園時代の友人も亡くなったという。16年目のコンサートで何を訴えるか。福田さんはじっと考え、「僕は命を削って演奏している。いつも演奏が終わったら、くたくたになる。その音を皆さんに届きたい」と語った。

垂水区の福田正人さん

コンサートは、神戸市中央区波止場町のホテル「ラ・スイート神戸ハーバーランド」で開かれ、午前11時から午後1時半からの2回公演。ランチの後にコンサートが行われ、料金8000円。収益の一部は「あしなが育英会神戸レインハウス」に寄付される。申し込みは、同ホテル(078・371・1111)。